

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	4852	担当課等	学校教育課									
事務事業名	教育支援教室推進事業											
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	4	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P118 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑦ 不登校などの問題解決				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	小中学校において、心因的な理由で不登校となる児童生徒は年々増加傾向にある。不登校対策として平成4年度に学校校外指導室「適応指導教室」を開設した。令和2年度から名称を「教育支援教室」と改めた。								
対象	心因的な理由での不登校児童生徒								
内容	心因的な理由での不登校児童生徒の学習指導 不登校児童生徒の保護者に対する助言 不登校児童生徒の学校復帰への生活指導 小中学校医との連携								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	447,230	557,016	587,960	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等	535,092	577,944	577,488	
	人件費合計	535,092	577,944	577,488	
総事業費	982,322	1,134,960	1,165,448		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	982,322	1,134,960	1,165,448	
財源合計	982,322	1,134,960	1,165,448		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
通級児童生徒数		人	11	11	10
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
原籍校へ復帰した児童生徒数		人	5	5	5

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原町立小中学校に通う児童生徒対象のため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 基本的な生活習慣を身につけさせ、集団生活に適用できるように段階的に指導し、学校へ復帰させる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 不登校だった児童生徒が教育支援教室に通級するようになり、教育支援教室の小さな集団生活をする事により、原籍学校へ復帰できるようになる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 教室の案内パンフレットを作成し、小中学校や町内施設に配架し、周知をしている。

令和3年度までの自己評価または改善点	不登校の児童生徒にとって、居場所となり得る教育支援教室の存在は必須のものと考えている。園芸活動等の様々な活動の中で、集団生活への適応を指導している。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 保護者、学校、関係諸機関との連携が必要な為、委託等は不可能と思われる。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	原則として、小学校4年生以上の児童と中学校の生徒が対象でしたが、小学校低学年児童やひきこもりの児童生徒についても学校と連携して随時家庭訪問を行っている。
令和5年度以降の方向性	引続き、不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるため、関係機関との連携を図りつつ指導していく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるために指導し、保護者へ助言を行う。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	4862	担当課等	学校教育課								
事務事業名	小中学校児童生徒作品展開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	① 特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町立小・中学校の児童生徒の作品を町立図書館に展示し、小・中学校の学習の成果の発表と鑑賞の機会を提供し、この機会に児童生徒の多彩な学習の成果を住民に知ってもらい、開かれた学校運営を目指す。								
対象	町立小・中学校の児童・生徒								
内容	湯河原町立小・中学校の児童生徒の作品を11月下旬～12月上旬に町立図書館に展示し、小・中学生の学習の成果の発表と鑑賞の機会を提供する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	90,000	90,000	90,000		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	90,000	90,000	90,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	90,000	90,000	90,000		
	財源合計	90,000	90,000	90,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
委託金額			円	90,000	90,000	90,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 小中学生の学習成果の発表と鑑賞の機会を提供し、成果を住民に知ってもらい、開かれた学校運営を目指す。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 児童・生徒の作品を広く発表する機会があることで児童・生徒の学習意欲の向上を図ることができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 作品展として町民等多くの皆さんに児童・生徒の学習成果を知ってもらえる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 児童・生徒全員の作品の中から優秀作品を選定している。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に委託
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	これまでは、児童・生徒の作品を町立図書館に展示していたが、令和5年度から各校での巡回展示に変更する。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	児童・生徒の作品を広く発表する機会があることで児童・生徒の学習意欲の向上が期待できる。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	4878	担当課等	学校教育課								
事務事業名	人権問題研究会等参加事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P118 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(5) 人権教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	○								
目的	人権に対する知識と認識を深める。								
対象	教育委員会事務局職員								
内容	同和三団体の研究会への参加や雑誌等の購入								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	79,960	84,000	89,000	
	人件費	58,966	57,956	56,660	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	58,966	57,956	56,660	
	総事業費	138,926	141,956	145,660	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	138,926	141,956	145,660	
	財源合計	138,926	141,956	145,660	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 人権団体主催の研究会等に参加することで人権に関する知見を深めることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 必要に応じて学校の教職員に情報提供を行うことで学校教育の充実に寄与することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 人権団体主催の研究会等に参加することで人権団体に対し町教育委員会の姿勢を示すことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 研究会等の参加内容を学校現場にフィードバックできない部分がある。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	教育委員会事務局職員の研修参加等の事業のため
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	人権団体主催の研究会等に参加することで人権に関する知見を深めることができる。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	4915	担当課等	学校教育課								
事務事業名	校外体験学習推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	① 特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	郷土の特色ある地場産業、自然を実際に体験することで、湯河原町民の一員として、自分の住む町をより理解し、郷土愛が育まれる。								
対象	町内小学校児童								
内容	次の体験教室を開催する。 ・お茶摘み体験(児童が茶摘みを体験し、そのお茶を給食等で試飲することにより、農業に対する理解を深める。) ・温泉入浴体験教室(こごめの湯で温泉の入り方とマナーを学ぶ。) ・稚鮎の放流体験(郷土の自然や生き物へのいっくしみを深める。)								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	408,392	397,886	616,979	
コスト 人件費	常勤職員		1,133,200		
	会計年度任用職員等		66,478		
	人件費合計	0	1,199,678		
総事業費	408,392	397,886	1,816,657		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	408,392	397,886	1,816,657	
財源合計	408,392	397,886	1,816,657		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 地場産業や自然を体験することで郷土を学ぶことができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内の関係団体から協力をいただき実施している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域の産業など身をもって体験することで地域を考える機会を作りだし、教育の充実につながっていくと考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 学習状況に合わせた特定の学年で毎年実施しており、多くの児童が参加している。
令和3年度までの自己評価または改善点	令和3年度については、令和2年度に引続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、お茶摘み体験のみの実施を予定していましたが、雨天により中止しました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	農事組合法人南郷協同組合に委託
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、お茶摘み体験のみの実施を予定していましたが、雨天により中止しました。 令和4年度については、3年ぶりに全ての体験学習を実施することができ、町内小学校の児童は、湯河原町の自然を体験することで郷土を学ぶことができました。	
令和5年度以降の方向性	継続して実施する。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	郷土の特色ある地場産業、自然を実地に体験することで、自分の住む町をより理解し、郷土愛を育む教育を推進する。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	4943	担当課等	学校教育課							
事務事業名	子どもフォーラム開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成 23 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	① 特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	「笑顔あふれる最高の楽校(がっこう)」(平成23年度湯河原町子どもフォーラム宣言)の実現と、児童・生徒が主体的に活動できる場を設定することにより、よりよい「小・小連携」「小・中接続」の実現を目指す。								
対象	町内各小中学校の児童・生徒								
内容	児童・生徒が主体的、協働的に活動できる場を、年間4回設定することで、自分たちの手でよりよい学校や町を創る意識を高め、行動する児童・生徒を育成する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	68,906	56,233	74,203	
コスト 人件費	常勤職員	716,500	701,300		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	716,500	701,300		
総事業費	785,406	757,533	1,102,603		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	785,406	757,533	1,102,603	
財源合計	785,406	757,533	1,102,603		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
子どもフォーラム開催数	活動できる場の設定	回	2	1	2
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
参加者(児童、生徒、一般)		人	9	13	50

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 児童・生徒が自分たちの学校や町を大切に思い、よりよくしていこうとする意識や行動に繋げるために、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 本町出身の方にコーディネートしていただくことで、町を愛するという共通項を持って、事業を行うことができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 昨年度も参加した児童・生徒が、今年度も参加するという循環が生まれているが、個々の生活スタイルの変化により、参加ができない場合もある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 児童・生徒たちの手で、「笑顔あふれる最高の楽校(がっこう)」を実現することで、町立学校に通う全ての児童・生徒に還元することができる。
令和3年度までの自己評価または改善点	令和3年度の開催は1月の1回目のみとなり、予定していた2回目及び3回目については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	開催にあたり、教育委員会において、学校等各関係機関との連携が必要であるため。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	参加しやすい状況を設定するため、児童・生徒が主体的に参加、活動できるよう、情報発信を工夫するとともに、子どもフォーラムの目的から逸脱しない範囲での行事を企画している。	
令和5年度以降の方向性	地域の方にも、積極的に参加していただけるような事業に発展させる。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	主体的、協働的に行動し、考えることができる児童・生徒を育成するために有効な事業と考えている。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	4956	担当課等	学校教育課								
事務事業名	学びづくり推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117.119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	① ⑨ ・特色ある教育の推進 ・教育研究・教職員研修の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	児童・生徒及び地域の実情や課題を踏まえ、基本的な知識及び技能を習得させ、課題を解決するための思考力・判断力・表現力等をはぐぐみ、主体的に学習に取り組む姿勢を養うことで、児童・生徒の学力向上を図る。 また、特色ある湯河原の学校教育の推進、教育における「現代的課題」への取組、教育研究組織の活性化、教職員の意識改革と意欲向上を図る。								
対象	町内小中学校の児童・生徒 全教職員								
内容	「かながわの学びづくり推進事業」は終了したが、町独自で事業を継続し、各学校での創意工夫を生かした、教職員の授業力向上及び授業改善を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	290,000	210,000	405,000	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
総事業費	290,000	210,000	405,000		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	290,000	210,000	405,000	
財源合計	290,000	210,000	405,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
講演会		回	9	6	12
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町の児童・生徒の実態、町立学校の状況、それらを取り巻く町の状況を反映した取組みを実現するためには、町の事業として実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 校内研究会に、外部講師を複数回招聘することで、理論と実践がつながり、質の高い研究会を実施でき、授業力向上、授業改善が図れる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 継続して同じ講師を招聘することができ、町立学校教職員の授業力向上、実践的指導力の向上に多大な効果を得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町立学校に通う全ての児童・生徒に対して、質の高い授業を提供することが、公教育の目指すべき方向である。

令和3年度までの自己評価または改善点	福浦幼稚園にも、外部講師を招聘することで、公教育における幼小中の「学び」の連続性を意識した取組みを行った。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に対して、教育課題研究を委託している。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	町立学校同士で授業を見学し合うだけでなく、町外のよりよい実践を吸収し、本町の公教育に還元するため、教職員が先進校のみならず、近隣市町村の校内研究会等にも積極的に参加できるように働きかける。	
令和5年度以降の方向性	町立保育園と、「学び」の部分を共有し、義務教育を終えるまでに、町としてどのような生徒を育てたいかを明確にした上で、幼保小中の情報連携・行動連携を図っていく。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	教職員の授業力向上及び授業改善を図るため、継続的な実施が必要である。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	4986	担当課等	学校教育課							
事務事業名	人権教育等促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P118 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑤ 人権教育の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る問題であるという前提のもとに、いじめを生まない土壌づくりを図るものです。								
対象	町内小中学校の児童生徒及び教職員								
内容	湯河原町いじめに関する調査委員会からの答申の中で示された提言を受け、小学5・6年生及び中学生を対象とし、「人権川柳」を募集した。 また、小学5・6年生及び中学生において、社会生活技能訓練(アート・コミュニケーション・トレーニング)を実施している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	1,755,470	1,639,330	1,652,450		
	人件費	294,830	289,780	283,300		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	294,830	289,780	283,300		
	総事業費	2,050,300	1,929,110	1,935,750		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,050,300	1,929,110	1,935,750		
	財源合計	2,050,300	1,929,110	1,935,750		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
人権川柳応募者数			点	476	567	752
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 平成26年4月に起きた悲しい事件を風化させないようするため、町が積極的に事業を取組む必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 最優秀作品となった人権川柳については、各学校や町役場にて立看板として掲示しており、町民の皆さまに対しても啓発している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 社会への対応が困難とならないよう、「社会で他社との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識や技術」を体系的に習得することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 アート・コミュニケーション・トレーニングの対象を小学5・6年生に拡大したが、今後は、3・4年生への拡大も検討する。

令和3年度までの自己評価または改善点	小中学校という多感な時期に、コミュニケーション能力や対応能力の育成を行うことは有効であると考えます。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	アート・コミュニケーション・トレーニングをNPO法人に委託
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	今後とも継続して、アート・コミュニケーション・トレーニングを実施し、コミュニケーション能力や対応能力の育成を図る。	
令和5年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町独自の取組みとして今後とも人権教育を推進し、いじめの未然防止、早期発見及び解消を図る。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	5017	担当課等	学校教育課								
事務事業名	副読本「ゆがわら」作製事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	② ③ ・小学校教育の充実 ・中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	郷土湯河原の歴史や文化等を学習する。								
対象	小中学校の児童・生徒								
内容	郷土湯河原の歴史や文化等を学習するための教材「副読本」として作成する。 令和3年度は中学校用を作成した。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	712,690	223,080	0	
	人件費	589,660	579,560		
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	589,660	579,560	0	
	総事業費	1,302,350	802,640	0	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	1,302,350	802,640	0	
	財源合計	1,302,350	802,640	0	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 郷土の歴史や文化等を学習するための教材の作成する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 社会科の授業において使用している。郷土を理解するうえで類似のものはない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 郷土の歴史や文化の理解を深め、尊重する態度を身に付けていくことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町立小中学校の児童生徒全員に配布していることから受益の機会は均等に近いと考えている。
令和3年度までの自己評価または改善点	3年に1度副読本を改定している。令和2年度は小学生用を、令和3年度は中学生用を改訂しました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に内容の調整を依頼
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	内容の精査を図りながらより良い副読本を作成する。	
令和5年度以降の方向性	継続し、実施する。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	児童生徒が郷土を理解し、歴史や文化等の学習をするための補助教材として内容の充実を図る。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	9729	担当課等	学校教育課								
事務事業名	ICT教育推進事業										
予算科目コード	会計	001	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	国のGIGAスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現にむけ、推進するもの。								
対象	町内各小中学校の児童・生徒及び教職員								
内容	各小中学校において校内無線LANを整備し、児童・生徒及び教職員に一人1台のパソコン端末を整備しています。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	47,215,601	59,616,260	62,275,310		
	人件費					
	常勤職員	2,149,500	2,103,900	2,056,800		
	会計年度任用職員等	541,260	541,260	541,260		
	人件費合計	2,690,760	2,645,160	2,598,060		
	総事業費	49,906,361	62,261,420	64,873,370		
財源内訳	国庫支出金	19,548,000	1,482,000	1,482,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	30,358,361	60,779,420	63,391,370		
	財源合計	49,906,361	62,261,420	64,873,370		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒・児童及び教職員の教育用のものであり、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 GIGAスクール構想の実現となる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 教育用パソコン端末の整備や環境整備によりICT教育の推進をすることができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 限られた予算の中で最善な運用方法を見出すことが必要である。

令和3年度までの自己評価または改善点	国庫補助制度を利用して、環境整備を迅速に行うことができた。
--------------------	-------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	運用等の検討も必要となることから、行政として行う必要がある。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	教育委員会や学校のみだけでは適切な運用方法を研究することが難しいため、ICT支援員を委託し、助言等をいただいている。	
令和5年度以降の方向性	ハード面については、今後のランニングコストを再度精査する必要があると考えます。ソフト面については、町内小中学校の教職員自らが協力し、研究する必要がある。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	限られた予算の中で最善な運用方法を見出す必要がある。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	さらなるタブレットの利用を進めてください。
------	----------	-----------------------

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	12447	担当課等	学校教育課									
事務事業名	中学校校務支援システム改修事業											
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	令和	3	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校における成績管理や出欠席管理など教員が行う公務について、校務支援システムを導入しており、通知表の様式を足柄下郡3町で統一する必要があるため、システム改修するもの。								
対象	町内中学校の教職員								
内容	校務支援システム内の通知表の様式を、足柄下郡3町で統一する必要があるもので、システム改修するもの。 令和3年度については、中学校の学習指導要領改訂に伴い、成績通知書の様式を改正するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)			
コスト	事業費	0	242,000	0		
	人件費	常勤職員		28,978		
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	28,978	0	
	総事業費	0	270,978	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	270,978	0		
	財源合計	0	270,978	0		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 校務システムについて、町で賃貸借やシステム使用をしているため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 足柄下郡3町で通知表の様式を統一することで、生徒の転出等の対応時にも円滑なものとなる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 通知表の様式を改修し、教職員が行う事務の改善・向上が図られた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 足柄下郡3町にて同時期に改修することができた。

令和3年度までの自己評価または改善点	特になし
--------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 足柄下郡3町取りまとめの上、業者に委託している
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和5年度以降の方向性	今後も指導要録等の変更があった場合に、システム改修等の必要性があった場合には、足柄下郡3町で連携し、対応する。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	システム改修が完了しました。
------	----	----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	12459	担当課等	学校教育課									
事務事業名	小中学校校務支援システム事業											
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	令和	3	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小中学校における成績管理や出欠席管理など教員が行う校務について、情報の漏えい防止や校務の負担軽減を図るため、校務支援システムを導入するものです。								
対象	町内中学校の教職員								
内容	小中学校の校務用パソコン等の借上及びシステムを使用するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	0	11,285,184	10,852,788	
	人件費				
	常勤職員		2,103,900	2,056,800	
	会計年度任用職員等		541,260	541,260	
	人件費合計	0	2,645,160	2,598,060	
	総事業費	0	13,930,344	13,450,848	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	13,930,344	13,450,848	
	財源合計	0	13,930,344	13,450,848	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 校務システムについて、町で賃貸借やシステム使用をしているため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 成績管理や出欠席管理などの公務を円滑に進められている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 成績管理や出欠席管理などの公務を円滑に進められている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 各学校取りまとめて行っているため公平性は保たれている。

令和3年度までの自己評価または改善点	特になし。
--------------------	-------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 性質上、行政が必要である。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和5年度以降の方向性	現状維持

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引続き、情報の漏えい防止や校務の負担軽減を図る。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	10100	担当課等	学校教育課								
事務事業名	理科教育設備整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	理科・算数及び数学に関する教育(理科教育)を実施するための設備整備を行い、教育振興を図るもの。								
対象	町内小中学校の児童・生徒及び教職員								
内容	学校からの要望を聴取し、観察用顕微鏡や実験・観察器具等を購入し、理科教育の充実を図りました。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)			
コスト	事業費	0	1,995,653	1,892,000		
	人件費	常勤職員		289,780	283,300	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	289,780	283,300	
	総事業費	0	2,285,433	2,175,300		
財源内訳	国庫支出金		997,000	945,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	1,288,433	1,230,300		
	財源合計	0	2,285,433	2,175,300		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 各学校からの要望に沿って、設備整備をするので、町が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 設備整備の充実をすることで、理科教育等の振興を図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 教職員の指導方法をより充実させることで、児童・生徒の学習意欲等の向上を図ります。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 各学校からの要望を伺い、精査をしながら学校に整備しています。

令和3年度までの自己評価または改善点	国庫補助制度を活用し、学校からの要望を計画的に整備することができた。
--------------------	------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 学校からの要望を集約する必要があるので、町が行います。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	学校からの要望の理科備品を、整備することができた。
令和5年度以降の方向性	今後も継続して、国庫補助制度を活用し、計画的に整備する。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	計画的な整備を行い、理科教育等の振興を図る。
------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	11465	担当課等	学校教育課							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業									
予算科目コード	会計	001	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の推進	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各小・中学校及び幼稚園にて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校(園)生活を推進するもの。								
対象	町内各小中学校、幼稚園の児童・生徒及び教職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備するもの。 中止や延期となった小中学校修学旅行の保護者負担を一部補助するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
	事業費	11,012,237	3,868,467	4,885,097	
	人件費	5,732,000	2,805,200	1,371,200	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	5,732,000	2,805,200	1,371,200	
総事業費	16,744,237	6,673,667	6,256,297		
財源内訳	国庫支出金	10,678,381	3,868,467	4,885,097	
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	208,906			
	一般財源	5,856,950	2,805,200	1,371,200	
	財源合計	16,744,237	6,673,667	6,256,297	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒・児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童・生徒が感染症対策等を習慣化することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。

令和3年度までの自己評価または改善点	国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、網戸等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和4年度においても、国庫補助制度を活用し、保健衛生用品や備品の整備を行います。	
令和5年度以降の方向性	今後とも継続して、感染症対策を講じた、安全・安心な学校生活の推進を図ります。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要性がある。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	13513	担当課等	学校教育課									
事務事業名	特別支援学級環境改善事業											
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	事業開始年度	令和	3	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	特別支援学級に新入学する児童への支援充実等のため各種備品の整備を行い、教育振興を図るもの。								
対象	町内小学校の児童								
内容	令和4年度に特別支援学級に入学する児童への支援充実を図るため、管理用品やマイク等の備品を購入し、特別支援教育の充実を図りました。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	0	425,254	0	
	人件費		231,824		
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	231,824	0	
	総事業費	0	657,078	0	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	657,078	0	
	財源合計	0	657,078	0	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 学校からの要望に沿って、設備整備をするので、町が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 設備整備の充実をすることで、特別支援学級の振興を図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 教職員の指導方法をより充実させることで、児童・生徒の学習意欲等の向上を図ります。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 学校からの要望を伺い、精査をしながら学校に整備しています。

令和3年度までの自己評価または改善点	令和4年度入学児童への準備として、学校からの要望を踏まえ、計画的に整備することができた。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、教育委員会及び学校が行う必要があると考える。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	引続き学校と連携を図り、特別支援学級に係る物品購入を行う必要があると考えます。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	学校と連携を図り、計画的に整備をう。
------	----------	--------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--